京都市
CITY OF KYOTO

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

京都市は持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）を支援しています。

市民の皆様の御意見をお聞かせください！

DO YOU KYOTO? 2050 ゼロ ゼロ
変わろう、今。変えよう、未来。

京都市環境審議会
市民公募委員募集のお知らせ

京都市環境審議会において、市民の皆様の御意見を伺い、本市の環境に関する施策に反映させるため、同審議会の市民公募委員２名を募集します。

京都市環境審議会とは？

京都市の環境の保全に関する基本的事項等を調査及び審議し、意見を述べるため、京都市環境基本条例に基づき設置する市長の諮問機関です。現在、学識経験者や各種団体代表者等２９名※で構成しています。　※令和７年３月３１日現在

委員の仕事はどんなこと？

年に５回程度、平日の日中に開催される審議会及び部会※に出席し、環境の保全に関する基本的事項について審議していただきます。

※　審議会には「環境基本計画策定検討部会」、「環境基本計画評価検討部会」、「地球温暖化対策推進委員会」、「生物多様性保全検討部会」、「京都環境賞選考部会」及び「環境保全基準部会」の６つの部会を設置しており、これらの部会にも所属いただく場合があります。

（議題例）

- 京都市の環境行政のマスタープランである京都市環境基本計画の進捗状況に関する点検・評価及び次期計画検討について
- 京都市地球温暖化対策計画や京都市生物多様性プランの進捗状況に関する点検・評価について

など

※　京都市環境審議会の詳細については、本市ホームページを御覧ください。
（https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/shingikai/kankyo/0000137213.html）
京都市環境審議会　検索

《応募期間》

令和７年４月２８日（月）から５月１６日（金）まで

（郵送の場合は当日消印、ＦＡＸ及び電子メールの場合は当日送信日時記録有効）

《応募及び問合せ先》

京都市環境政策局環境企画部環境総務課
〒６０４－８５７１
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町４８８番地
電話番号　０７５－２２２－３４５０
ＦＡＸ　０７５－２２２－３４２６
電子メール　kankyosomu@city.kyoto.lg.jp

《募集人数》
２名

《任　　期》
委嘱の日（令和７年７月予定）から２年間

《応募資格》
令和７年７月１日現在で次の条件を全て満たす方
- 京都市内に居住、通勤又は通学している方（国籍は問いませんが、日本語での会話が可能な方）
- 年齢が満１８歳以上の方
- 国、地方公共団体の議員又は常勤の公務員でない方
- 京都市の他の審議会の委員に２つ以上委嘱されていない方
- 年に５回程度、平日の日中に開催される会議に出席できる方

《応募方法》
応募期間内に応募用紙に指定テーマによる小論文を添えて、郵送、ファックス又は電子メールで御応募ください。電子メールの場合は、様式は問いませんが、応募用紙に記載されている必要事項及び小論文を記入のうえ、送付してください。

（小論文テーマ）
環境と調和した持続可能な社会の実現に向けて
豊かな地球環境を未来へ引き継ぐため、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、循環型社会の実現に向けて、私たちは、これまでの延長にとどまらない取組を実践し、持続可能な社会の実現を目指す必要があります。これに関し、あなたの考えを800字程度で記載ください。

※　応募用紙は、本市ホームページからもダウンロードできます。
（https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/shingikai_bosyu/kankyo/0000340082.html）
※　応募いただいた書類は返却しませんので、御了承ください。

《選　　考》
送付いただいた書類により選考を行い、選考結果は６月中旬から６月下旬に応募者全員に通知します。
※　必要に応じて、電話での問合せや面接を行う場合があります。
※　本市では、審議会等の附属機関の委員について、青少年の積極的な登用を促進しています。

《報　　酬》
会議への御出席１回について、10,000円を報酬としてお支払いします。

受付番号	

京都市環境審議会

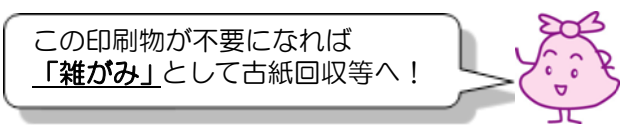
市民公募委員　応募用紙

ふりがな 氏　　名		性 別 (※記載は任意です。)	
生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日　（　　歳）		
住　　所	〒　　－		
電話番号	自宅　　（　　） 携帯　　（　　）	職 業	
通勤・通学先	（京都市外にお住まいの方のみ、記入ください） 〒　　－ 京都市　　区 電話番号　　（　　）		
興味･関心のある 環境分野	（興味・関心のある環境分野とその理由を記入ください。） ○ 分野例 地球温暖化、生物多様性、資源循環（ごみ、食品ロスなど）、環境教育など 分野： 理由：		
処理欄	※記入しないでください		

※　応募の際に御記入いただいた現住所、氏名、年齢、性別、電話番号などの個人情報は、本選考においてのみ使用し、他の目的では一切使用しません。

小論文作成用紙

氏　　名	
テ　ー　マ	環境と調和した持続可能な社会の実現に向けて

豊かな地球環境を未来へ引き継ぐため、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、循環型社会の実現に向けて、私たちは、これまでの延長にとどまらない取組を実践し、持続可能な社会の実現を目指す必要があります。これに関し、あなたの考えを 800 字程度で記載ください。

令和 7 年 4 月発行
京都市環境政策局環境企画部 環境総務課
京都市印刷物　第 070631 号